

地域密着型特別養護老人ホームきずな・ココろ

入居者個々の思いや 願いを叶える

私たちは、基本理念、基本方針の実現のため入居者さんの心身、活動機能を理解し、思いを実現できるプランを作成し、個別ケアに取り組み、ユニットケア実践のための意識づけとして勉強会・改善に取り組んでいます。



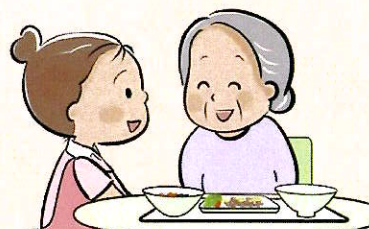
「尊厳」の保たれる 暮らしの実現

全室個室となっています。ご自分でお好きな空間を作り、自分らしく過ごす事ができます。また、個人のプライバシーが守られ他の方を気にせず生活する事ができます。



一人ひとりの 「生活リズム」に合わせた 暮らしの実現

ユニットケアでは、一人ひとりの「生活リズム」を大切にします。「朝起きる時間」「食事の時間」など人それぞれです。施設で決められた時間に行動するのではなく、その方の自宅で生活されていたリズムに沿ったケアを行います。



「顔なじみ」の 関係の中での暮らしの実現

同じ職員と入居者様に関わる事で、身近な存在となり、馴染みの関係性を築くことができます。また、リビングでは入居者同士の間関係も築くことができます。



小規模多機能型居宅介護事業所きずな

小規模多機能とは？

介護が必要になった場合でも住み慣れた地域で、「通い」を中心に、ご本人の様態や希望に応じて、「宿泊」「訪問」といったサービスを組み合わせて、自宅での生活を継続するために24時間、365日必要な支援をしていきます。



サービスの概要

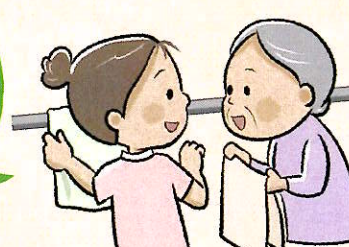
- ・「通い」で顔なじみになった職員が「宿泊」や「訪問」も対応します。
- ・環境の変化に敏感なお年寄り(特に、認知症の方)の不安を和らげることができます。



通い

- ・日常生活支援(身体介護・生活介助など)
 - ・仲間づくりの場として
 - ・いろいろな人と交わる場として
 - ・生きがいづくりの場として
- ※例えば、朝から夕方まで滞在するのではなく、その人が必要としているお風呂だけ、食事だけといったほんの数時間の利用という使い方もあります。

一人ひとりの
思いや
これまでの
生活スタイルに
合わせた支援や
時間の過ごし方



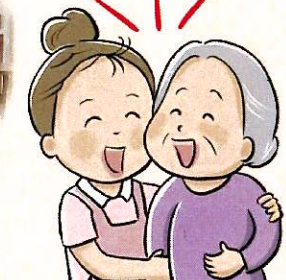
宿泊

「通い」を利用している方が、これからも家で生活することを重点におき、なるべく自宅での過ごし方と変わらないように支援していきます。その時々様態に合わせて緊急時にも対応します。

自宅での過ごし方と
変わらないように



回数も
支援する内容も
ひとそれぞれ



訪問

「通い」だけでは支えきれない時間帯やさまざまな支援を、その延長線上として、その人の「暮らし」に合わせて支援していきます。